

あおり教育フェスタの
発表内容の一部につい
て、紹介していきます！

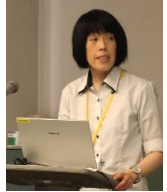


こんな研究しています！

文責 研究委員会委員長 木村 浩

あおり教育フェスタ2019
研究員研究発表のご案内 日時：11月15日（金）
※詳細につきましては、フェスタ最終案内または当セン
ターホームページをご覧ください。

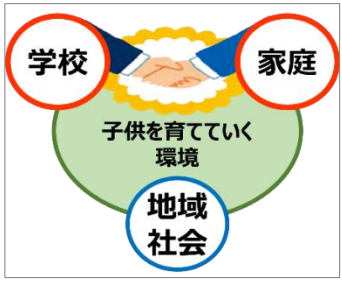
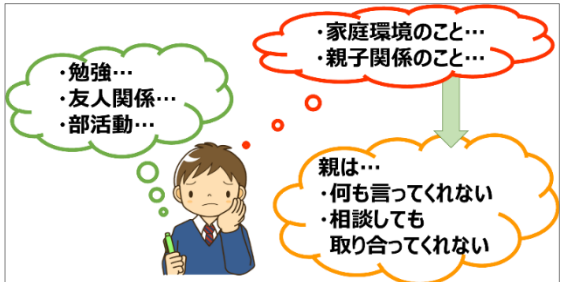
教育相談課 研究員 橘 美那子



研究主題：中学校における保護者と教師の信頼関係構築に関する研究

生徒の悩みにはいろいろあり、その悩みに対応するには、特に学校と家庭の協力が欠かせません

◎**主題設定の理由**



ところが

**保護者と教師（子供を援助するチームのメンバー）
の関係で懸念されること**

- ・同じ場面での子供の援助、経験の共有がほとんどない
- ・互いの経験や知識が異なる場合も
- ・考えや姿勢の相違→トラブルの発生のもとにも
- ・教師に期待はしているものの、協力の仕方がわからない保護者もいる

懸念を少しでも減らすために…**学校の考えを保護者に伝える情報提供**
→保護者への働きかけにもなる
「これをやってみようかな」

信頼関係の構築（向上）

◎**研究の実践**

保護者が行動するきっかけとなることを目指す、文章での情報提供

①校長室通信 ②学校だより
③ほけんだより ④学年通信
⑤学級通信 ⑥メール配信
⑦パンフレット（子供への声かけの例）

校内研修の実施

- ・教育相談に関する用語やスキルについて
- ・学校からの一方的な情報提供ではなく、通信等でも取り上げられている内容を先生方も一緒に学ぶ

◎**現在行っていること**

保護者へのアンケート①
文章での各種情報提供、面談等の直接対話等が学校や子供に関する情報を得るうえで役立っているか、また、家族で話し合ったり、実践したりしたことがあるかどうか。

保護者へのアンケート②
学校に対する信頼感を、期待感と協力的態度で測る。

- ・協力性と期待性の高さは、学校からの働きかけ（情報提供）と関連があるか。
- ・どのような情報提供が、保護者の行動につながるか。

等を検証します。

小学校体育科マット運動におけるICTを活用した効果的な指導法の研究 —側方倒立回転の実践を通して—



運動の知識を身に付け、系統的に学んでいけるようにする ICT 機器の活用とは？

器械運動は「できる」「できない」がはっきりしている運動です。つまづきを感じている児童がいたときに、教師としては「何とかしてあげたい」という思いはあるものの、技が高度であるために示範することができなかつたり、補助してあげることができなかつたりする場合があるなど、指導に困難を抱えがちな運動領域です。限りある授業時間の中で「わかって」「できるようにする」ことを児童全員に保証するのは容易ではありません。そこで、ICTを活用することで「わかる」に近づけることができるのではないかと考えました。

小学校学習指導要領（平成29年告示）においては、「運動の行い方に関する知識」が資質・能力の三つの柱の一つである、知識及び技能に位置付けられました。つまり、これまで以上に「わかる」と「できる」ことをより関連付けていくことになったということです。

そこで、児童が運動の知識を身に付け系統的に学習を進めていけるようにするために、ICT機器をどのように活用すれば効果的なのか、二つの手立てを考え検証しました。



【手立て①】

運動者目線の映像も使用することで、運動のイメージ作りに役立つ。

運動局面	開始	踏み出し	着手	倒立	着足	終了
外部映像 (運動者の外から撮影)						
内部映像 (運動者の目線で撮影)						



【手立て②】

練習方法の映像資料を活用することで、一人一人に合った練習に取り組ませる。

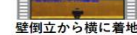
練習したい技



抱えている課題



練習や補助の仕方



運動の知識を確実に身に付け、系統的な学習を可能にする。

内容の詳細は、あおもり教育フェスタ 2019でお伝えします！

あおもり教育フェスタ2019
令和元年11月15日(金)・16日(土)

KonKen 作成担当 産業教育課 石田 尚将 電話 017(764)1994

Center Information
Aomori Prefectural School Education Center